

スポ推の

P 連親善スポーツ大会

令和6年12月1日（日） 南区スポーツセンター中体育館において

長く暑い夏からようやく過ごしやすい季節に移り替わったこの日、南区PTA連合会親善スポーツ大会が開催されました。

種目は、ふらばーボールバレー。各小・中学校からの参加チームにPTA役員チームを加えた全32チームが、午前と午後に分かれて楽しく対戦しました。

スポ推のメンバーは、平成27（2015）年から取り入れられたこの競技の審判員として、寄り添わせていただきました。



特殊な形の特有なバウンドに翻弄され、思い通りのプレーができず苦笑したり、思いがけずのファインプレーに拍手したり、予期せぬ動きや珍プレーに大爆笑したり…とそれぞれのコートでは、「ノーバン、ノーバン」「ワンバン、ワンバン」と声を掛け合いながら、1・2セット各7分の試合が繰り広げられました。



「ん？」「バレーなのに7分の時間制限？」と不思議に思われる方もいらっしゃるでしょう。10年目ともなれば、いろいろ対策を講じてこられ、長いラリーが続く試合も数多く、1点を取得するのも一苦労なのです。実際に、2セットでの合計得点が、『15-16』という接戦もあるほどです。これは、選手の健康・安全に配慮しつつ、大会の進行を円滑にすることからのローカルルールとのことです。



相手チームから帰ってきたボールを、ワンバウンドで拾って、つないで、3球目で返すという簡単なスポーツのようで、予測不能なボールの動きに集中力を欠かせられないスポーツです。



審判員は、公平なジャッジを行うことはもちろん、試合中の曖昧なプレーの確認や、試合後のルール説明など、選手が楽しんで参加できるように努めました。

そして、今後もふらばーボールバレーを楽しむ人々が増えていくよう、お手伝いできればと思っております。